

## H26 年漁期のあかいか(ソデイカ)漁業について

今漁期(H26 年漁期)のあかいか(ソデイカ)漁業について取りまとめましたので、お知らせします。

### 1 平成 26 年漁期の漁況

#### 【兵庫県下各漁協(支所)の漁獲】

平成 26 年(2014 年)の漁獲量(速報値)は、但馬漁協津居山支所 19 トン(2013 年は 55 トン)、竹野支所 14 トン(同 46 トン)、柴山支所 12 トン(同 35 トン)、香住本所 54 トン(同 176 トン)、浜坂漁協 14 トン(同 39 トン)、**合計 114 トン(同 350 トン)**で、**前年比 33%**と低調でした(図 1)。

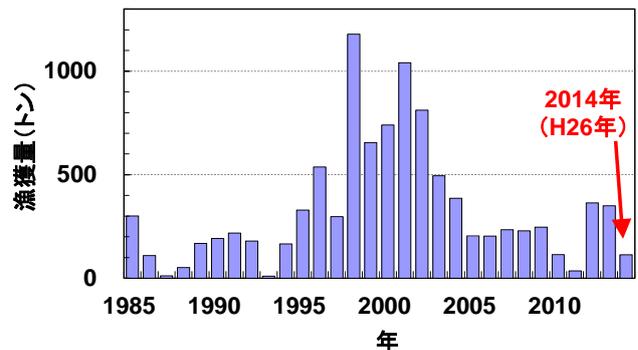


図 1 あかいか(ソデイカ)漁獲量の推移(但馬全体)

### 2 価格の推移

県下全域の漁獲金額(速報値)は、合計 6,754 万円(前年比 54%)でした。平均単価(1kg あたり)は、8 月が 845 円、その後も 9~12 月にかけて 500 円台後半~600 円台前半の比較的高い値で推移しました。(図 2)。

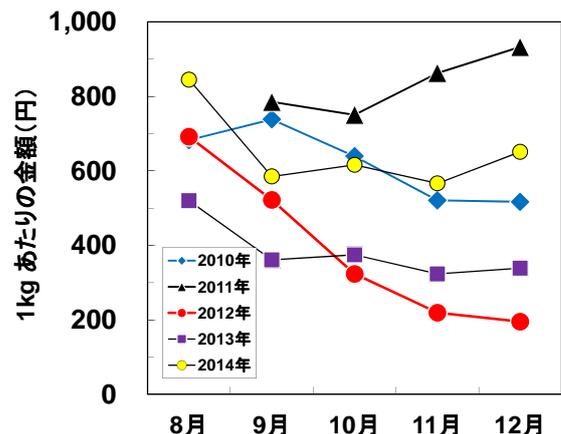


図 2 あかいか(ソデイカ)平均単価の推移(但馬全体)

### 3 漁況予報の結果(的中したかどうか)

今年度、当センターでは、7 月 14 日に「あかいか(ソデイカ)長期漁況予報(予報期間:9~11 月)」、10 月 10 日に「中短期予報(漁況経過と漁期後半の予報)」を、それぞれ発表しました。主な予報内容と結果は、以下のとおりです。

- ①来遊水準:「豊漁であった一昨年や昨年をやや下回るものの、過去 10 年平均(2004~2013 年)を上回り、平年に比べて「多め」の漁獲が見込まれる。」と予報(7 月)。  
結果:→ ×:漁獲量は一昨年、昨年および過去 10 年平均を下回りました。
- ②平均漁獲量:「1 日 1 隻あたりの漁獲量(9~11 月平均)は、135~200 kg の見込み。」(7 月)、「今後の漁獲は近年 5 か年 1 日 1 隻あたりの平均値漁獲量(165 kg)をやや下回ると考えられる。」(10 月)と予報。  
結果:→ ×:9~11 月の 1 日 1 隻当たりの平均漁獲量は 113 kg で、予測を下回りました。
- ③漁場:「山陰・若狭沖の冷水域の張り出しはやや弱く、漁場は沖合域に拡散する。」と予報(10 月)。  
結果:→ ○:冷水域の張り出しは弱く、漁場は沖合域に拡散した。

今年は、夏季にエルニーニョの影響等で冷夏となり、あかいかの来遊量自体が少なかったこと、山陰・若狭沖に形成される冷水域の張り出しが弱かったことから、来遊量の少なかったあかいかが沖合の広い範囲に分散した結果、予測を下回る漁模様になったと考えられます。次年度以降は、今漁期の結果を考慮して、予測精度の向上に努めます。

**\* 今後も、引き続き調査へのご協力をよろしくお願いいたします。**

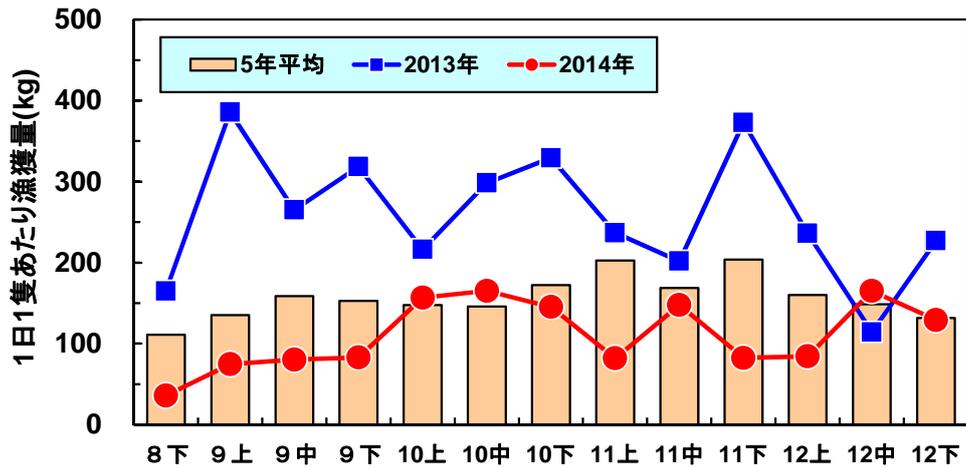


図3 来遊量指標(但馬漁協香住本所の1日1隻あたり平均漁獲量)の旬別推移

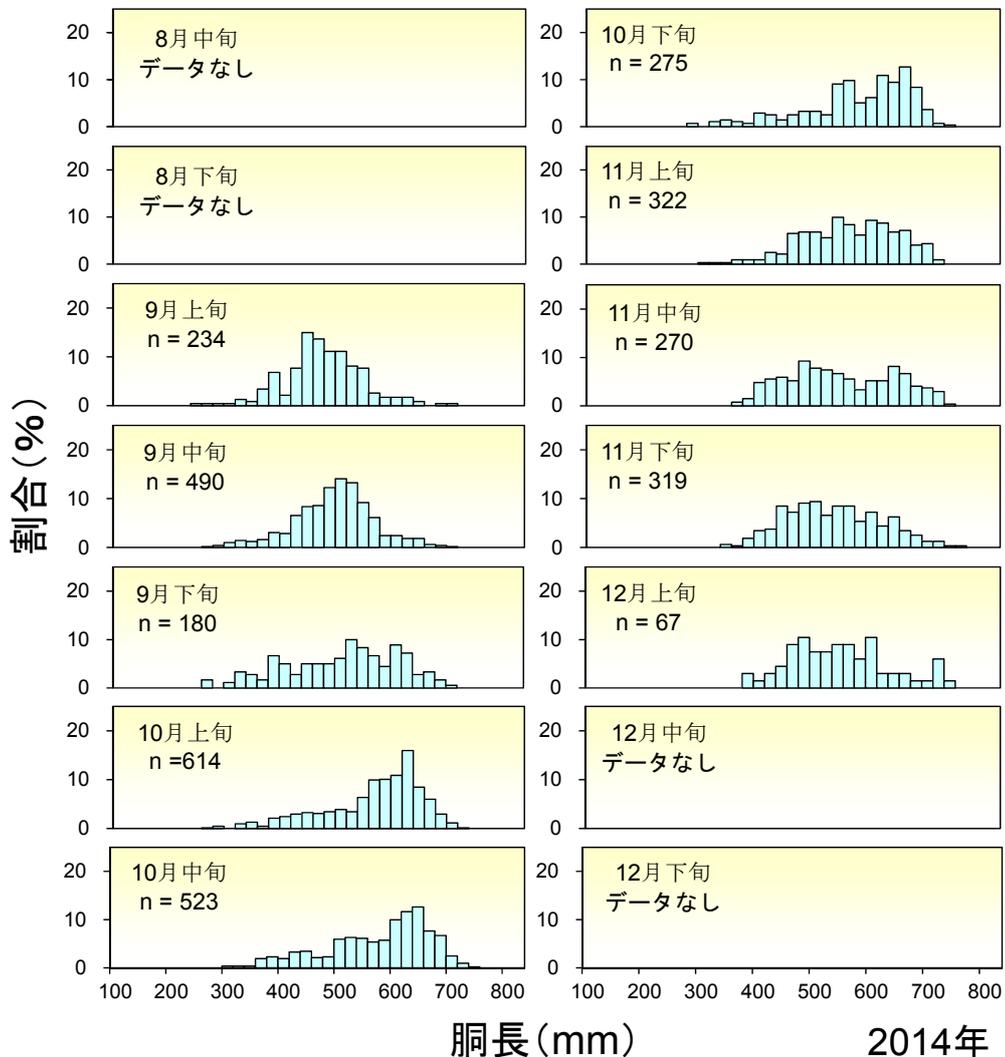


図4 JF 但馬漁協香住本所に水揚げされたあかいか(ソデイカ)の体長組成

\* nはその旬に測定したイカの数を示します。

\* なお、胴の長さを体重に換算すると、概ね次のとおりとなります。

300mm=1.0kg、400mm=2.4kg、500mm=4.7kg、600mm=8.0kg、700mm=12.7kg、800mm=19.0kg